

# 患者の皆様へ

2023年8月8日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「Computational fluid dynamics (CFD) 解析による胆道癌に対する拡大肝切除後の門脈血栓症発症メカニズムの解明」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2006年1月から2023年8月に胆管癌（肝門部領域胆管癌）に対する手術を受けた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「Computational fluid dynamics (CFD) 解析による胆道癌に対する拡大肝切除後の門脈血栓症発症メカニズムの解明」

## 2. 研究の意義・目的

胆道癌のうち、肝門部領域胆管に発生する肝門部領域胆管癌は、外科切除が唯一の根治療法です。しかしながら、肝門部領域胆管癌は、広範な肝切除を要し、手術侵襲は高度であるため周術期合併症の頻度も高く、とくに門脈血栓症を発症すると、時に命に係わることがあります。現在のところ、この門脈血栓症の発症のメカニズムは解明されておらず、CFD解析によって、そのメカニズムを解明することにより、肝門部領域胆管癌に対する安全な手術を施行する一助となることを目指します。

## 3. 研究の方法

2006年1月から2023年8月に、当科にて胆管癌（肝門部領域胆管癌）の診断で手術が施行され、電子カルテにて周術期および外来経過のデータが調査可能な患者様が対象です。

対象患者様のデータを調査し、周術期に撮影した造影CTを用いて門脈の形状を確認し、CFD解析を行います。また、門脈の形状毎に、それらの各患者様の臨床データ（年齢、性別、術式、予後、術前および周術期の採血データや画像データ）、病理組織学的検査所見など、手術成績、病理検査結果を比較検討します。研究実施期間は、2023年の当院の倫理審査承認後から2028年3月31日までです。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をし

ますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省、経済産業省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日告示）に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関：千葉大学**

**大学院医学研究院臓器制御外科学**

**大学院工学研究院**

**研究責任者：**

**千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学**

**教授 大塚 将之**

**本件のお問合せ先：医学部附属病院肝胆膵外科**

**医師 細川 勇**

**043（222）7171 内線6553**